

新 消防長・消防団長 ご紹介

今治市消防本部 消防長 ^{やまもと ひであき} 山本 秀明

この度、4月1日付で、今治市消防長を拝命しました山本秀明です。
能登半島地震災害など様々な自然災害が激甚化、頻発化している状況を踏まえ、大規模災害に対する消防体制をさらに強化し、地域防災の要である消防団とともに、住民の生命・身体・財産を守る消防使命達成に向けた取り組みに全力を注いでいく所存でございますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大洲地区広域消防事務組合消防本部 消防長 ^{たかせ りょうじ} 高瀬 良次

四月一日付けをもちまして大洲地区広域消防事務組合消防長を拝命いたしました高瀬良次です。
近年の激甚化、多様化する災害に対応するため、消防団・自主防災組織との更なる連携のもと、住民の皆様が安全・安心に過ごせる町づくりを目指し、地域防災力の向上に努めてまいります。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

宇和島市消防団 団長 ^{かじた ひろし} 梶田 浩

宇和島市消防団も、団員数の減少など様々な問題を抱えています。団長就任にあたり、「今の時代背景に則した消防団行事の見直し」「過去に経験したことのない未曾有の災害にも対応できる消防団活動の構築と団員の育成」「持続可能な消防団を目指した組織の再編」の三本柱を早急課題とし、消防団員一人一人が安全安心に活動できることを最優先とした団運営を行うその積み重ねが地域住民一人一人の安全、安心に繋がると信じています。

西条市消防団 団長 ^{とだ もと} 戸田 基

この度、令和6年4月1日付で、西条市消防団長に就任いたしました。近年の多様化する災害に備え、消防団の役割・任務は一層重要となり、住民からの期待は益々高まっております。地域住民の期待に応えるべく消防団の使命を念頭に、関係機関と連携強化を図りながら持続可能な消防団づくりを推進し、組織防災力の強化に努めてまいりますので、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

西予市消防団 団長 ^{こうの とおる} 河野 通

この度、西予市消防団、団長を拝命いたしました河野通です。
近年複雑多様化する各種災害から、「生命、身体、財産」を守るという使命のもと、消防署・自主防災組織等、関係機関との連携を密にして地域住民の期待に応えられるように、団員一丸となって地域防災力及び消防力の向上に努めて参りたいと思います。
今後とも、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

愛南町消防団 団長 ^{さかもと じょうじ} 坂本 譲司

この度、4月1日付けをもちまして、愛南町消防団長を拝命いたしました坂本譲司です。
消防団は地域防災の要として、自らの地域は自らで守るといふ郷土愛の精神で、住民の「安全で安心な暮らしを築く」ために日々活動しています。
今後起こりうる大規模災害に備え、地域の防火・防災リーダーとして地域住民や自主防災組織の皆様と信頼関係を築いていくよう誠心誠意努力を重ねていく所存であります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新居浜市消防本部 消防長 ^{うしろだ たけし} 後田 武

この度、令和6年4月1日付けをもちまして、新居浜市消防長を拝命いたしました後田武です。
今後、発生が危惧される南海トラフ巨大地震や複雑多様化・激甚化する近年の災害に対応するため、消防団をはじめとした関係機関と連携し、地域防災力の充実強化に努めて参ります。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

四国中央市消防本部 消防長 ^{ひがしやま かずふみ} 東山 和史

この度、4月1日付けで、四国中央市消防長を拝命し、伝統ある組織を担う重責を痛感いたしますと共に大変、身の引き締まる思いであります。
誰もが安心して暮らせる社会を確保していくため、消防団や、自主防災組織並びに各関係機関と連携を図りながら、市民の皆様方から全幅の信頼を頂けるよう全力で消防行政を推進してまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

今治市消防団 団長 ^{ふじわら きよひさ} 藤原 清久

この度、令和6年4月1日付をもちまして、今治市消防団長を拝命しました藤原清久です。
近年の災害は、頻発化・大規模化し、地域住民の消防・防災についての関心が高まる中、消防団として地域住民の「安心・安全」の確保のために果たす役割は益々大きくなっています。
関係機関との連携・強化を図るとともに、皆様のご理解とご協力を得ながら更なる精進をして参る所存ですので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

八幡浜市消防団 団長 ^{きくち ひでお} 菊池 秀夫

この度4月2日をもちまして八幡浜市消防団長を拝命いたしました菊池秀夫です。
「自分たちの地域は自分たちで守る」という消防団精神のもと、団員一丸となって消火防災活動に取り組んでまいりたいと思っております。関係機関の皆様には変わらさずご指導ご鞭撻いただきますよう、よろしく願いいたします。

四国中央市消防団 団長 ^{むらかみ とよし} 村上 豊司

この度、4月1日付けをもちまして、四国中央市消防団長を拝命いたしました村上豊司です。
地域に根差した消防防災機関として、常備消防及び各地区自主防災組織との連携を深め、地域防災力のさらなる向上を図りたいと考えています。
今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東温市消防団 団長 ^{わたなべ まさちか} 渡部 政近

この度、4月1日付けをもちまして、東温市消防団長を拝命しました渡部政近です。
地域住民との繋がりの中で生まれる緻密な情報網や特性を生かして東温市民の生命・身体・財産を守るため、専心努力する所存です。
関係機関の皆様にはご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



発行人
公益財団法人 愛媛県消防協会
松山市築山町1番35号
電話(921)8517番
会長 大西 浩司
一部55円

二〇二四年度全国統一防火標語
守りたい 未来があるから
火の用心

扱いやすさと
タフな空冷エンジンを採用

空冷式消防ポンプ
FT500
B-2級
FT450
B-3級



Fi(電子制御燃料噴射)に間接水冷ラジエータを搭載

水冷Fi式消防ポンプ
FF500ZXi
B-2級
FF450ZXi
B-3級



操法で活躍!

SHIBAURA
信頼と実績のキャブレタシリーズ
水冷式消防ポンプ
FK500 B-2級
FK450 B-3級
FK400 B-3級
シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店
(有)愛媛芝浦ポンプ商会
TEL.089-933-6355 FAX.089-933-9550
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号



第50回消防団幹部特別研修に参加して



松前町消防団
副団長 岡田 裕二

この度、東京都で開催された「第50回消防団幹部特別研修」に愛媛県からの研修生として参加しました。全国の都道府県から47名の正副団長が参加しており、参加当初は研修中に緊張をすることもありましたが、徐々に打ち解け、消防団員として熱意のある同志と実のある研修にすることができるといふ期待が胸がいっぱいになりました。

研修内容で印象に残ったものとしては、視察で慰霊碑を見たことや震災を中心とした講義を受けたことがあげられます。一月一日に発生した能登半島地震により、当初予定されていた視察は変更となりましたが、震災地に赴いた講師の方々が体験したことや災害対応について貴重な体験談が聞けたことは、とても意義深いものだったと思います。

また、座学としてグループ8人のグループミーティングを行い、各消防団から提出された課題研究テーマについて討論しました。私の班では、「理想の消防団と今後の消防団活動について」話し合いを重ね、問題意識の共有を図るとともに、所属団の取り組み状況や諸問題について意見交換を行いました。現時点で挙げられる課題として、消防団活動と仕事・家庭等ライフワークバランスの難しさ、報酬の個人支給など、従来の方法や考え方を改める機会となる契機となり、幹部が率先して意識改革すべきであるということ。地域の方々と繋がりを大切に、コミュニケーション能力の高い頼りにされる消防団を目指すことが地域の防災力につながる。また、年齢や職種・性別が違う中で多様性を受け入れられる消防団になっていくことが重要だと数多くの課題が挙がり、我が松前町でも少しずつ改善していけるよう努力する必要がありますと感じました。

最後に、研修に参加したこと、他県の団員と繋がりをもちつことが出来たことにより、今では災害時に連絡をとり、情報共有を行っています。災害はいつ、どこで発生するか分かりません。災害が発生した時、助け合える関係性を作れたことはこの研修で一番の収穫でした。今回の研修で学んだこと、感じたことは今後の消防団活動に生かし、より災害に強い消防組織を目指す。日々精進して参ります。



第23回消防団幹部候補特別研修(女性の部)に参加して



松野町消防団
班長 谷口 真美

令和6年2月14日から16日の3日間、東京都で開催された第23回消防団幹部候補中央特別研修に参加いたしました。

研修では、日本消防協会の秋本会長による講話のほか、東京消防庁航空隊の見学や各グループによる課題討議を行いました。

課題討議では「若い世代の消防団員を確保するための入団促進対策」をテーマとし、まず初めに、「なぜ入団してもらえないのか」という問題点について考えました。

一つ目は、若い世代だけでなく高齢者も含めて危機感がなく、自分たちには関係ない、誰かがしてくれるという考えの人が多くということ。

二つ目は、女性消防団の認知度が低く活動内容が不透明で、今までの消防の悪いイメージがあり、家族や職場の理解が得られないということ。

三つ目は、地域とのつながりが希薄になり、イベントへの参加も少なくなっていること。

解決のためにも、幼少期からの英才教育、女性消防は「どこで」「誰が」「どんな活動をしているのか」を明確にし、地域との繋がりを高めていくことが必要だと感じました。そのためには地域との連携を強化し、幼年消防クラブ、少年消防クラブ、女性防火クラブなどの設置や防災対策を身近に感じてもらうために、イベントブースの設置、運動会などの競技の中に取り入れてみるなど、興味を持ってもらうところから始めていかなければいけないと考えました。

また、幼年消防クラブでは自分の身の守り方を知り、少年消防クラブではAEDや消火器の使い方、応急手当の方法や段ボールベッドの組み立て及び設置など、一日体験を実践してもらおう。女性防火クラブでは、特に子どもがいる家庭では自分の子どもを守らないといけないという自覚を持ってもらい、そのために最低限できることを学んだり、炊き出し訓練などを行ない、災害時にお手伝いをしてもらえる体制をつくらせたいと思いをしました。そして、自治体なども協力して多くの人に知ってもらい、身近なものに感じてもらうようにしていきたいと思えます。

こういった経験があれば、消防にも入りやすくなり、入団促進にも繋がるだけでなく、地域との繋がりがもていくのではないかと思います。

新・事務局長紹介



事務局長 近藤 正紹

この度、4月1日付けをもちまして、愛媛県消防協会事務局長に就任いたしました。

地域住民の安心・安全の確保のため日々ご尽力頂いている消防団員、消防職員の皆様へ、心より敬意を表します。

近年、災害は激甚化・頻発化する傾向にあり、令和6年元日には、石川県能登地方を震源とする大規模な地震が発生しました。この地震においても、地元消防機関は、自らも被災しながら、地域住民の安全を守るべく、発災直後から様々な活動を展開されました。本県におきましても、南海トラフ巨大地震が危惧される中、消防に寄せる住民の期待は益々大きくなっています。

しかし、現状では、消防団員数の減少や団員の被雇用者化の進行など、顕在化した様々な課題への対応が急務となっております。当協会といたしましては、今後におきましても、消防団を中核とした関係機関との連携を図り、地域防災力の向上に努めて参りますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

宜しくお願い致します!



2月14日から16日の3日間、第23回消防団幹部候補中央特別研修に参加しました。研修では、日本消防協会秋本会長の講話をはじめ、各分野で活動されている方々の活動事例等を織り交ぜた講演、東京消防庁航空隊の見学、グループごとの課題討議等、走り抜けた3日間でした。

課題討議では、8つの班に分かれてそれぞれ与えられた課題について討議を行いました。私は1班で、「理想の消防団と今後の消防団活動」について、私を含め10人のメンバーでそれぞれの意見をぶつけ合いました。課題だけでなく、活動事例や日頃の不満等、話が脱線し、なかなか意見がまとまらず、発表間際まで資料の調整、台本の作成を行っていました。

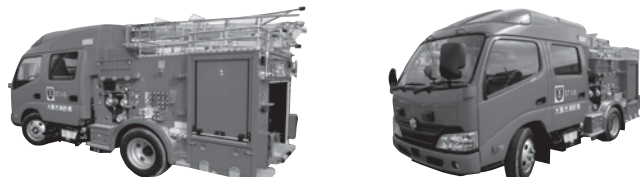
私たちの理想の消防団は「地域のヒーロー」です!

地域のヒーローになるためには、地域を知ること、把握することが必要と考えました。私は宇和島市吉田町出身で、西日本豪雨災害での被災経験があります。6年前、吉田町の白浦地区に住んでいた私は、地震と勘違いするほどの轟音と揺れで目が覚めました。外を見ると、隣の空き地に土砂がなだれ込み、裏山からは水が吹き出ている異様な光景が広がっていました。私は、当時消防団で分団長をしていた父の誘導により近所の集会所に避難しました。幸い私の地区は人口も少なく、普段から近所付き合いが密に行われていたため、安否確認等をスムーズに行うことができていました。地域を知り、把握できている消防団の皆さんが救出活動や避難誘導を行う姿は、まさに「地域のヒーロー」でした。

「地域のヒーロー」の他、「子育て世帯が安心して活動できること」や「多様性やデジタル化等について変化する時代に合わせた正しい防災知識の取得」等、様々な意見がありました。私にとって、今回の研修は貴重な財産となりました。研修に参加させていただき、関係者の皆様に心から感謝するとともに、団員として地域住民の安全な生活と財産を守るべく、町の防災・減災に努めて参ります。



<http://www.ogawa-pump.co.jp>
OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車 (Made In 愛媛)



豊富な収納力が1台2役分の活躍を。
多くの資機材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。
コンパクトにまとめあげたCD-I

小川ポンプ工業株式会社
愛媛支社

〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号
TEL: 089-972-2392 FAX: 089-972-2400
E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

一般住民の防災活動等

寒川中部自主防災委員会結成から10年の取り組み



寒川中部自主防災委員会
委員長 宮崎 定

はじめに、能登半島地震により、多くの尊い命が失われ、犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

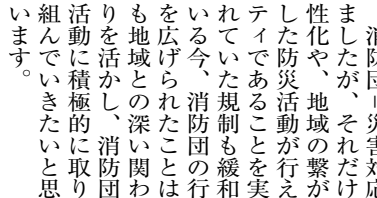
私が住んでいる四国中央市寒川町は、南は法皇山脈に、北はひうち灘に接している、山と海の距離が近く比較的気候が良い地域です。春のこの時期は、日本三大局地風とも言われる「やまじ風」が発生し、強風が山から平野部に吹き下ろします。

寒川中部自主防災委員会は、「自分たちのまちは自分たちで守る」との地域の声から、平成20年7月1日に寒川中部自治会を母体として設立されました。

設立後の活動は、救命講習でのAEDの取扱いや初期消火訓練、防災マップの作成や各組の長を中心とした地域避難訓練、また、地元消防団と連携した救出救助訓練や放水訓練などを行ってきました。そして、まちの一大イベントである太鼓台運行による秋祭りでは、災害時の炊き出し訓練を合わせて行うなど、地域の防災力向上を図ってきました。

コロナ禍では防災訓練やイベントの開催が困難となりましたが、役員を中心に話し合いハード面の整備に取り組むことにしました。まずは防災倉庫の設置から始めました。災害時や災害発生前に使用することから、一般的なプレハブ物置ではなく、より頑丈な海上コンテナを設置し、それまで集会所に保管させてもらっていたスコップ、土嚢袋などの水防資機材やボールなどの簡易救助資機材や発電機などを防災倉庫に収納することにしました。また、四国中央市からの防災活動補助金を活用してチェーンソーやスタンドライトなどの資機材を整備することができました。現在はこれらの資機材を活用した訓練を計画しています。

令和5年度は新型コロナウイルスが5類感染症へ移行したことで一部中止していた活動が再開されることになりました。また、地元寒川小学校が文部科学省の防災教育の実践モデル校として選ばれたことにより、防災学習や防災体験に自主防災委員会として協力させていただきます。いただいたり、講演を聴講させていただいたりして、結果的に地域の防災意識の向上に繋がることとなりました。引き続き連携を深め、協力体制を整えていきたいと思っております。



私が消防団に入団したのはちょうどコロナ禍であり、何をやるにも制限があったので、消防団員として本格的な活動が始まったのは令和5年からでした。年末に行われる年末特別警戒や出初式等は参加人数を限定するなど、新型コロナウイルス感染拡大予防のためなるべく最小限での活動を行っていましたが、令和5年は初めて女性消防団員体力錬成(レクバレー)大会に参加をさせて頂きました。参加することが決まった当初は、交流の輪に入っていくのが不安でいっぱいでしたが、実際に参加すると、初対面の方と何気ない雑談を交わし、プレーを通してコミュニケーションをとることが出来ました。また、日ごろ接することのない団員とも交流が深まりました。更にその後開催された交流会でも他市町の消防団員の方々がたくさん話しかけてくださり参加して良かったと思える有意義な大会でした。

また、令和5年は通常規模で開催された出初式にも初めて出席しました。職場で出会う方、地域で出会う方を始め、大勢の消防団員が整列しているところを改めて目の当たりにした時、消防団というコミュニティの広さに驚きました。入団するまでは、「消防団＝災害対応」という印象がとて強くありましたが、それだけではなく地域コミュニティの活性化や、地域の繋がりを強化することで地域に密着した防災活動が行える大切な役割を担ったコミュニティであることを実感しました。コロナ禍で制限されていた規制も緩和され、あらゆる行事が再開している今、消防団の行事を通じて皆さんの交流の輪を広げられたことは貴重な経験となりました。今後も地域との深い関わりを活かし、消防団活動に積極的に取り組んでいきたいと思っております。

女性消防団だより

消防団活動を通じて



久万高原町消防団本部
団員 大野 亜美



松野町消防団
団長 渡邊 広道

支部だより

松野町消防団の取り組みについて

松野町は愛媛県の南西部に位置し、四国山脈西南部の鬼ヶ城山系など千石級の山岳に囲まれていて、宇和島市、鬼北町及び高知県四万十市に接する県境の町です。総面積は98.45km²で人口は約3千500人であり県内で最も少ない人口の町で、町土の約84%は森林で占められております。

当消防団は、3分団で構成されており、令和6年3月末現在での団員数は148名在籍しております。

主な活動は、春期・夏期訓練会、防火デー行事、年末特別警戒、出初式を実施しているほか、火災予防運動期間中には防火ビラ配布などの広報活動や車両パレード等を行っています。春期訓練会については、例年5月に開催しており、出水期前になるため水防訓練を中心に実施しております。夏期訓練では2年に1回、町内操法大会を実施し、更なる全体の士気、技術の向上を図れるよう実施しております。

一方で、当町では年々消防団員数が減少傾向にあり、団員確保は非常に喫緊な課題となっております。県下市町においても同様の課題をお持ちだと思っております。少子高齢化により若年層が少なく全体的にみても担い手が少ない状況で団員を確保することが難しくなっております。団員確保のため、移住者等にも加入をしていただけるよう、積極的に勧誘を行なっているほか、中学校へ訪問するなど将来の担い手となる学生を対象に消防教育を行なっております。このような取り組みを実施して、入団される方もいますが、加入者に対して退団者の方が多く課題解決には至っておりません。これからは、実情に合わせた効果的な周知や勧誘などを推進していく必要があると感じております。

また、団員確保など課題は山積みではあります。今後発生が予想されている南海トラフ地震に備えるために関係機関や事業所、自主防災組織など連携を図って地域防災活動に取り組んでいかなければなりません。各自自主防災組織で実施している防災訓練などには団員が率先して参加するなど、消防団一人ひとりが、地域防災のリーダーとして自覚を持ち、安心安全のため防災活動に取り組んでいくことが重要だと思っております。

災害に強いまちづくりをお手伝いします

家庭用からプロ仕様まで 消防・防災の専門商社

- 消防ポンプ自動車
- 消防ホース
- 防災・救助機器
- 避難用品
- 小型動力ポンプ
- 消防被服
- 消火器・消火装置
- 自主防災・企業防災用品



人と地球のいのちを守る **MORITA** 新基準活動服 **SHIBAURA** ジェットホース

新基準による消防団員活動服 シバウラ可搬消防ポンプ 操法大会最適ホース コンペVシリーズ

(株)岩本商会 〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1

Tel.089(947)2111 Fax.089(947)2116
高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫 <http://www.iwamotosyoukai.co.jp>

- 点検・報告・整備・工事
 - 消防用設備等・特殊消防用設備等
 - 防火対象物点検・防災管理点検
 - 防火設備点検
 - 連結送水管の配管耐圧試験
 - 消防用ホース耐圧試験
- 消防用機器等の販売
 - 各種消火器
 - 住宅用火災警報器
 - その他各種防災用品
 - 消防ポンプ自動車

～高度な技術で安心をお届けする～
株式会社 四国消防

〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号
電話 (089)934-4800
FAX (089)934-5533
E-mail: yons@ss4800.jp

第23回消防団幹部候補中央特別研修に参加して



内子町消防団 天神分団 副分団長 沼井 高志

令和6年1月31日から2月2日まで東京・新橋で開催されました消防団幹部候補中央特別研修に参加してきました。

・消防団に魅力を感じない
・消防団に対して家族の理解が得られていない
・若い人がいないなら現在入っている団員で資機材の点検時に飲食できる、というのはい

・家族は消防団のイメージが湧かないので、団員の家族を呼びバーベキューなどを開催し消防団の活動等を知ってもらおう

・家族は消防団のイメージが湧かないので、団員の家族を呼びバーベキューなどを開催し消防団の活動等を知ってもらおう

・家族は消防団のイメージが湧かないので、団員の家族を呼びバーベキューなどを開催し消防団の活動等を知ってもらおう

・家族は消防団のイメージが湧かないので、団員の家族を呼びバーベキューなどを開催し消防団の活動等を知ってもらおう

・家族は消防団のイメージが湧かないので、団員の家族を呼びバーベキューなどを開催し消防団の活動等を知ってもらおう

・家族は消防団のイメージが湧かないので、団員の家族を呼びバーベキューなどを開催し消防団の活動等を知ってもらおう

・家族は消防団のイメージが湧かないので、団員の家族を呼びバーベキューなどを開催し消防団の活動等を知ってもらおう



新居浜市消防団 泉川分団 団員 東 蓮

令和6年1月31日(水)から2月2日(金)までの三日間、東京都で第23回消防団幹部候補中央特別研修が開催され新居浜市消防団の代表として参加させて頂きました。

・防災から減災に関しては防災意識を高め各地で起こった災害の情報の共有化と水平展開を行い新たな災害に活かす。

・防災から減災に関しては防災意識を高め各地で起こった災害の情報の共有化と水平展開を行い新たな災害に活かす。

・防災から減災に関しては防災意識を高め各地で起こった災害の情報の共有化と水平展開を行い新たな災害に活かす。

・防災から減災に関しては防災意識を高め各地で起こった災害の情報の共有化と水平展開を行い新たな災害に活かす。

・防災から減災に関しては防災意識を高め各地で起こった災害の情報の共有化と水平展開を行い新たな災害に活かす。

・防災から減災に関しては防災意識を高め各地で起こった災害の情報の共有化と水平展開を行い新たな災害に活かす。

・防災から減災に関しては防災意識を高め各地で起こった災害の情報の共有化と水平展開を行い新たな災害に活かす。

・防災から減災に関しては防災意識を高め各地で起こった災害の情報の共有化と水平展開を行い新たな災害に活かす。



松前町消防団 団員 仲田 昌生

令和6年1月31日から2月2日までの3日間、東京都港区で開催されました「第23回消防団幹部候補中央特別研修」に参加させて頂きました。

・「気象」「防災と地域力」「危機管理」「活動事例」について学びました。

・「気象」「防災と地域力」「危機管理」「活動事例」について学びました。

・「気象」「防災と地域力」「危機管理」「活動事例」について学びました。

・「気象」「防災と地域力」「危機管理」「活動事例」について学びました。

・「気象」「防災と地域力」「危機管理」「活動事例」について学びました。

・「気象」「防災と地域力」「危機管理」「活動事例」について学びました。

・「気象」「防災と地域力」「危機管理」「活動事例」について学びました。

・「気象」「防災と地域力」「危機管理」「活動事例」について学びました。

令和5年度共済事業による車両交付

日本消防協会消防団員等福祉共済の福祉増進事業、防火防災訓練災害補償等共済の還元事業及び全日本消防人共済会の教育広報事業として、日本消防協会から、愛南町消防団へ消防団活動車(SUV型5人乗り)(三菱・4WD・AT)が交付されました。



Advertisement for Yamada Pump Co., Ltd. featuring various fire equipment like pumps, hoses, and trucks. Includes contact information for branches in Matsuyama and Niigata.